

## 4) 岩根地区

### (1) 岩根地区の現状

#### ①人口動向

○平成27年の人口は17,343人、世帯数は7,748世帯であり、市全体の人口の13.0%が居住しています。人口は減少傾向、世帯数は横ばい傾向にあります。

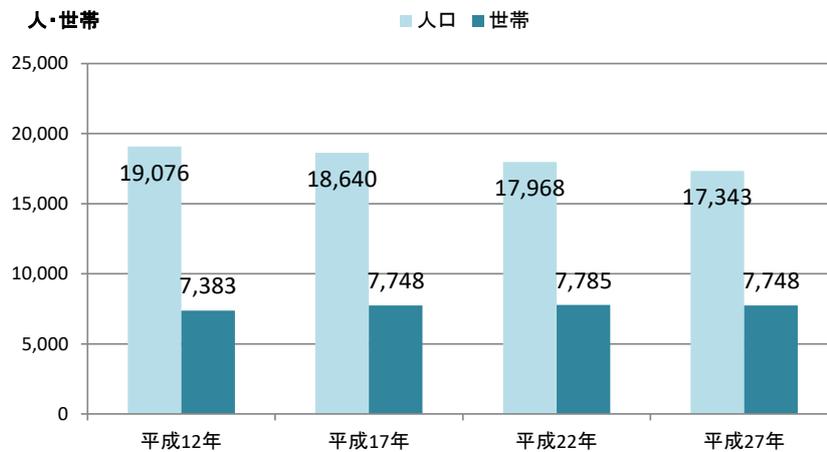
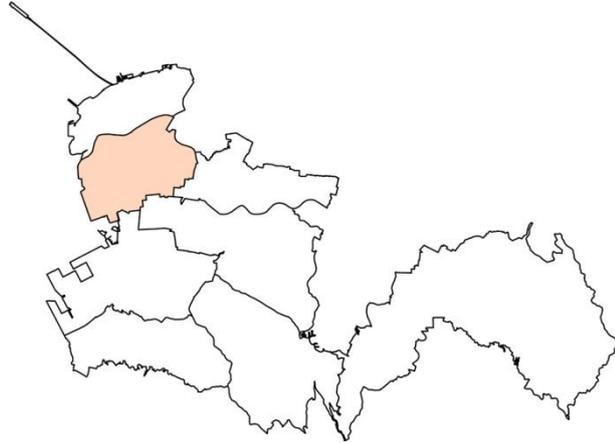


図 人口などの推移

資料：住民基本台帳

#### ②高齢化動向

○平成27年の高齢化率は29.9%で、近年急速に高齢化が進行しています。

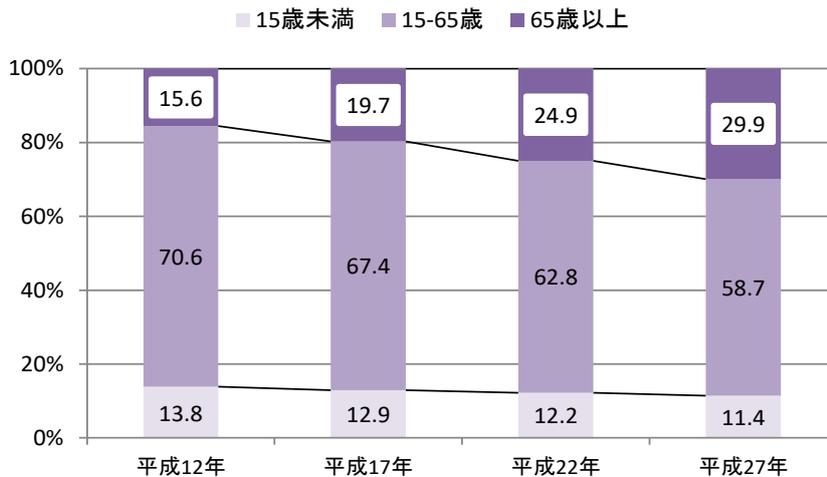


図 年齢3区分別人口の推移

資料：住民基本台帳

### ③土地利用

- 地区内は市全体と比較し都市的土地利用の割合が高くなっています。
- 市街地では、JR 巖根駅周辺や幹線道路沿道に商業施設が立地し、それ以外は住宅地が主体となっています。
- 市街化調整区域では、主に水田など農地が広がっていますが、荒地・耕作放棄地も多くなっており、市街地に隣接する部分でスプロール化が見られます。



県道巖根停車場線沿道の商業地



市街化調整区域の農地と集落地(高柳)

### ④都市施設

- JR 巖根駅周辺の既成市街地では都市施設の整備が遅れています。
- 国道 16 号（（都）3・3・5 中郷波岡線）、（都）3・3・7 中野畑沢線を除き、都市計画道路の整備は進んでいません。
- JR 巖根駅西口ロータリーが整備されています。



JR 巖根駅西口ロータリー



(都) 3・3・7 中野畑沢線

## ⑤住民意向

### ア. 市民アンケート調査

地区住民へのアンケート調査の結果、「地区の現状」及び「地区の将来イメージ」の設問に対する主な回答は以下のとおりです。

#### ■地区の現状

- 地域の下水道の整備が不十分
- 地震や津波、洪水など災害時の危険性が高い
- 商店などが歩ける範囲になく、日常生活が不便

#### ■地区の将来イメージ

- 防災・防犯対策の充実した安全・安心のまち
- 通勤・通学・買い物など、生活に便利なまち
- みどり豊かで落ち着いた良好な住環境のまち

### イ. タウンミーティング(市民懇談会)

地区で実施したタウンミーティング(市民懇談会)で寄せられたまちづくりの主なアイデアは、以下のとおりです。

- JR 巖根駅を中心とした都市づくり
- JR 巖根駅のバリアフリー化と快速停車
- 子どもが気軽に遊べる公園整備
- 市街化調整区域におけるスプロール対策

## (2) 岩根地区の課題

岩根地区の現状、市民アンケート調査、タウンミーティング(市民懇談会)での市民意見を踏まえ、地区のまちづくりの課題を以下のように整理します。

### <土地利用>

- 道路・公園等の都市施設を整備し、良好な住宅地を形成することが課題です。
- 高砂から高柳の一部、江川、中里、西岩根にかけての既成市街地における、密集した木造家屋や狭隘道路、袋小路の解消や建物用途混在の解消が課題です。
- 高齢化への対応として、JR 巖根駅を中心とした徒歩圏域への都市機能の集積が必要です。
- 荒地・耕作放棄地の活用方策の検討が必要です。
- 市街地隣接部、県道木更津袖ヶ浦線及び(都)3・3・7 中野畑沢線沿道の無秩序な開発の抑制と、適切な土地利用の規制誘導が必要です。

### <都市施設>

- 都市計画道路の整備が課題です。
- 広域幹線道路や幹線道路等へのアクセス性を向上するため生活道路の改善が課題です。
- 歩行者の安全に配慮した歩道整備が課題です。
- 高齢社会への対応や生活の利便性向上のため、公共交通の改善が必要です。
- JR 巖根駅は快速停車の要望とバリアフリー化が課題です。

### <都市防災>

- 津波被害や浸水被害など、災害危険性に応じた防災まちづくりが必要です。
- 既成市街地内の適切な防災対策が必要です。

### <都市環境>

- 小櫃川をはじめとする貴重な自然環境の保全と、海や川に触れ合える施設の整備などが必要です。
- 高柳、久津間の集落地は、良好な農村景観の保全が望まれます。

### (3) 岩根地区まちづくり方針

- ①JR 巖根駅を中心としたまちづくり
- ②金田・木更津地区を結ぶ活力ある地域づくり
- ③田園環境と調和した市街化調整区域における土地利用の誘導
- ④海辺や小櫃川などの豊かな自然環境の保全と活用
- ⑤安全な暮らしの確保

#### ①JR 巖根駅を中心としたまちづくり

- JR 巖根駅を中心とする商業地については、地域中心拠点の形成を図るため、商業施設、医療・福祉施設、子育て支援施設等の立地を誘導します。
- JR 巖根駅については、駅施設のバリアフリー化、総武線快速停車について JR と協議し、利便性向上に努めます。また、地域の交通結節点として、他の交通機関との乗り継ぎ利便性の向上や駐輪場の整備等を検討するとともに、地域公共交通網の形成について、事業者や関係機関との調整を図りながら検討します。
- JR 巖根駅を中心に広がる既成市街地については、生活道路や公園の整備など、住環境の整備・改善を図るとともに、低未利用地の活用を促進します。

#### ②金田・木更津地区を結ぶ活力ある地域づくり

- （都）3・3・7 中野畑沢線沿道については、地区計画制度の活用により物流・業務・商業・環境負荷の少ない工業等の地域振興に寄与する施設の立地の誘導を図り、金田・木更津地区の連携強化を図ります。
- （都）3・1・29 中島高柳線の整備を促進するとともに、（都）3・4・24 木更津駅万石線の整備を推進します。
- 幹線道路等へのアクセス性を向上するため生活道路の改善を推進します。

#### ③田園環境と調和した市街化調整区域における土地利用の誘導

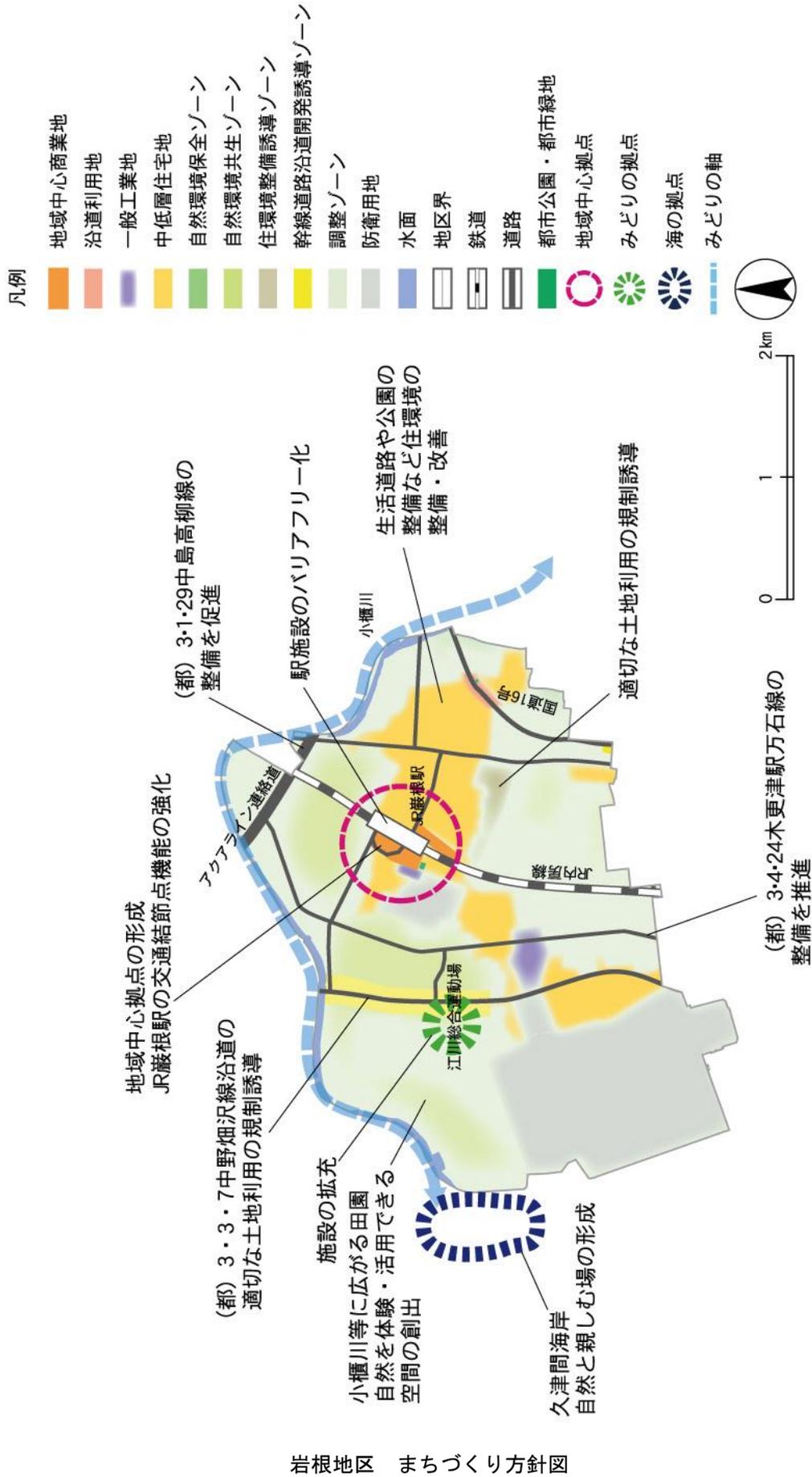
- 市街地ゾーンに隣接する集落地については、地区計画制度の活用により住宅等の立地を適切に誘導し、周辺環境と調和した土地利用の誘導を図ります。
- その他の集落地については、周辺の自然環境や農業環境との調和に配慮しながら、地区計画制度等の活用により良好な住環境の維持・形成を図ります。

④海辺や小櫃川などの豊かな自然環境の保全と活用

- 久津間海岸などの海辺は、自然と親しむ場としての活用を図ります。
- 小櫃川周辺の田園地帯は、今後も優良農地の保全を図るとともに、市民農園、観光農園等、自然を体験、活用できる空間の創出を検討します。
- 江川総合運動場については、みどりの拠点として、レクリエーション等の機能の維持を図るとともに、広域スポーツ交流活動等に対応できる施設の拡充を図ります。

⑤安全な暮らしの確保

- 海辺では、津波対策のための築山整備を検討します。平常時には富士山への眺望を楽しめる場としての活用を図ります。
- 市街地では、建替えや改修に伴う耐火性・耐震性の向上を図るとともに、ブロック塀の倒壊防止策や生け垣・フェンスへの転換を促進します。また、オープンスペースの確保を図ります。
- 避難所・避難路の確保を図るとともに、コミュニティ単位に備蓄倉庫などの防災施設や自主防災組織等の防災体制を整備・拡充します。



浜松市 まちづくり方針図